

「さんべで冬体験！～歩くスキー～」

1 趣 旨 ○冬の三瓶の自然に触れながら、歩くスキー等の体験を通して、三瓶地域の自然や体験活動に興味、関心を持ってもらう。

○親子で一緒に活動することにより、親子活動の楽しさを知ってもらう。

2 事業の概要

- (1) 期 日 ①令和2年2月 1日(土)～2日(日)
 ②令和2年2月 3日(月)～4日(火)
 ③令和2年2月15日(土)～16日(日)
 ④令和2年2月17日(月)～18日(火)
- (2) 場 所 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 参加者 主として小学生低学年とその家族
 ①79名 ②応募者なし ③85名 ④6名 (定員:①③100名、②④50名)
- (4) 講 師 NPO 法人日本子守唄協会、大田市レクリエーション協会
 研修指導員(歩くスキー、自然観察、ボルダリング)
- (5) 日 程 (①～④共通の内容で実施)

1 日目	10:30	11:00	12:00	13:00	17:10	17:30	19:00	20:30	22:00
	入所・受付	はじめの会	昼食	【歩くスキー教室】 初級・中級・上級に分れ、広場で練習をしたり、コースを歩いたりする。	夕べのつどい	夕食・入浴	【夜の活動】 ①親子でレクリエーション ②④自主活動 ③子守唄コンサート	就寝準備	

2 日目	6:30	7:00	7:40	9:00	9:30	11:30
	起床・身辺整理	朝のつどい	清掃・朝食	退所点検	【選択活動】 A. とことん歩くスキー B. おもいっきりそり遊び C. 冬の森たんけん	おわりの会

※【夜の活動】は開催日①～④で異なるプログラムを実施。

※積雪がない場合の代替プログラムには、ボルダリング、カローリング、オリエンテーリング、プラバンづくりを用意。天候をみて、ローテーションで実施。

3 事業の内容

①プログラムデザインと企画のポイント

積雪の多い三瓶では、冬季は、幼児や小学生の団体を中心に、「歩くスキー」などの雪のプログラムを多く実施している。本事業は、学校団体に限らず、より多くの人に雪に触れる機会を提供するために毎年継続して行っており、今年度で8年目となる。小学生と保護者を対象とした1泊2日の事業では、雪のプログラムに加え、レクリエーションなども取り入れ、親子や家族同士が関わる機会も大切にしている。活動内容が天候に左右されるため、積雪の有無や晴天、荒天による代替プログラム、活動場所の備えも企画を考える上での大切なポイントとなる。

②運営のポイント

今年度は、夜の活動プログラムを選択活動にせず、参加者全員で取り組める内容にした。地元の大田市レクリエーション協会と連携をとり、「親子で楽しむレクリエーション活動」を行ったり、日本子守唄協会を招き、「ふれあいファミリーコンサート」を行ったりした。いずれも、一度に大勢が参加し、お互いに関わり合いをもちながら楽しむことができ、参加者からのアンケートでも高い評価を得た。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体について	94	6	0	0
プログラムについて	98	2	0	0
運営面について	94	6	0	0
スタッフの対応について	100	0	0	0

(2) 参加者の声

- ・雪が少なかったが、親子でスキーをしたり、雪だるまを作ったり、親子で濃厚な時間を過ごすことができ、我が家の「目的」を果たすことができました。
- ・ぽかぽか陽気の中、オリエンテーリングを行い、自然を満喫することができ気持ちよかったです。歩くスキーができなくても、三瓶のプログラムを親子ですることに意味があるのだと思いました。
- ・子どもも私も、ボルダリングに初めて挑戦しました。夜は子守唄コンサートで、子どもと一緒に久々に童謡を聞き、懐かしい気持ちになりました。
- ・雪不足の中、様々な企画を考えてくださって、スタッフの方々は大変だったと思いますが、親子でも楽しませていただきました。

5 成果と課題

《成果》

- ・今年度は積雪が少なく、すべての開催日でプログラムや日程の変更を行った。事前に様々な状況を想定して準備したことから、大きな混乱もなく、スムーズな運営を行うことができた。
- ・長年お世話になっている研修指導員については、毎年、協議の場をもつことで事業内容をよく理解していただけている。そのため、直前のプログラム変更にも快く対応していただくことができ、また、今年度は、紹介等を通じて、新たに4名の方を新規研修指導員として登録することができた。
- ・新しい取組として、「NPO 法人子守唄協会」や「大田市レクリエーション協会」に依頼し、夜の活動プログラムを実施した。親子の触れ合いや家族同士の交流の機会にもなり、好評を得ることができた。

《課題》

- ・歩くスキーを事業のメインプログラムとして、運営を行っているが、近年は暖冬が続き、プログラムを変更して行う開催日も増えている。代わりに行ったボルダリングやカローリング、オリエンテーリングなども参加者からの評価が高かったことから、来年度はこれまでの「さんべで冬体験！」を踏襲しつつ、新たな日程、プログラム内容を検討していきたい。



歩くスキー教室の様子。積雪量は少なかったが、雪の活動を存分に楽しむことができた。



ボルダリングの様子。整備してきたキッズルームも、しっかり活用することができた。



子守唄コンサート、レクリエーションも、家族のふれあいや、参加者同士の交流の場として大いに賑わった。

(担当：企画指導専門職 武田 尚志)